

番号	科目名	単位数	学年	学科(系列・類型)	必修・選択
372	キャリア設計 (III)	1	3	工業科	工業科必修

履修条件、選択上の留意事項等
3 単位の内容を、学年の特性に合わせて 1 単位ずつ学習する。

科目の目標
日本の産業の現状を国際的な視点および地域的な視点の双方から理解し、多様な職業への理解を深めるとともに、自己の個性に応じた進路を主体的に設計し、それを実現するための基礎的な能力と実践的な態度を養う。 工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、生徒それぞれの個性や適性に合ったキャリアの構築に必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 産業社会において、工業のもつ社会的な意義や役割と人と技術との関わりを踏まえて理解するとともに、関連する知識を身に付けるようにする。 (2) 産業社会に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。 (3) 産業社会とキャリアに関する広い視野をもつことを目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技術	自己理解に基づき、産業、職業、ライフプランや社会人基礎力に関する知識を身に付けている。
② 思考・判断・表現	産業社会で活躍するための課題を発見し、事実と科学的根拠に基づき課題を解決しようとしている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	産業社会とキャリアに関する広い視野をもつことを目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
評価の方法	
ワークシートの内容、作成に取り組む姿勢 発表に取り組む態度、内容、表現方法	

学習計画						
月	単元 (項目)	題材 (使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	ライフプランⅢ	ア 進路実現のための行動計画	自己評価やライフプラン作成の基本的な知識を身に付ける。	○		
			これまでの実績からの客観的な自己評価に基づき、長期的なライフプランの中のキャリア形成について課題を見だし、行動計画を改善する。		○	
			行動計画の課題を見出すとともに解決策を考え、検証し改善する。		○	
			ライフプランの策定に向けて、自ら情報収集し、主体的かつ協働的に取り組む。			○
5		イ 進路情報の収集と夏期休業中の行動計画	求人票や学校案内の活用と、実際に行われている試験の内容について、その意味や取り組み方の基本的な知識と技術を身に付ける。	○		
			進路情報の収集を通じて、ライフプランとの整合性に配慮し、合理的な判断に基づき、行動計画を改善する。		○	
6			企業・学校見学や書類作成、面接指導等、具体的な内容について、実践的な知識と技術を身に付ける。	○		
			収集した進路情報を整理し、合理的な判断に基づき、夏期休業中の行動計画を改善する。。		○	
			進路実現に向けた具体的な学習に主体的かつ協働的に取り組む。			○
7	面接と自己表現	ア 履歴書・自己推薦書	書類の作成の規則や的確な文章表現に関連する知識と文書作成技術を身に付ける。	○		
			知識に基づいて履歴書や自己推薦書を作成し、その内容を客観的に評価することで、課題を見だし、内容を改善する。		○	
			履歴書や自己推薦書の作成において、ライフプランとの整合性を意識して、主体的かつ協働的に取り組む。			○

月	単元 (項目)	題材 (使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
8	面接と自己表現	イ 面接	面接試験の意義と受け答えに必要な情報に関する知識を身に付ける。	○		
9			面接試験の実情に合わせた模擬面接において、的確な受け答えについて課題を見だし、合理的に検証して改善する。		○	
			面接試験に向け、情報収集と情報発信において、主体的に取り組む。			○
10	社会人の基礎知識	ア これからの工業管理と工業経営、工業倫理	時代に対応した品質管理、労働法規、安全と環境への配慮等、工業経営に関する基本的な事項及び国際規格（ISO）に関する知識と工業管理を実践するための技術を身に付ける。	○		
11			工業倫理について、過去の事故事例の原因や対応策に関する知識を身に付ける。	○		
12			事故事例の原因や対応策、危険予知にもとづく行動計画の立案について課題を見だし、合理的に検証して改善する。		○	
			工業倫理を意識して、主体的にその技法を学び、安全衛生に関して協働的に取り組む。			○
1		イ 社会人としての生活	入社後に必要とされるビジネスマナーや金融、年金、保険等の社会生活に必要な知識を身に付ける。	○		
2			ライフプランの中に、入社後の生活や、金融、年金、保険などを組み込み、そこでの問題点を見出し、改善する。		○	
			ビジネスマナーや年金、保険等の必要性を意識し、その活用について主体的に学び、改善に向けて協働的に取り組む。			○
3		ウ 卒業後のキャリア形成計画	今後の計画に関する発表についての知識と、発表のための資料作成などの技術を身に付ける。	○		
			立案した今後の計画の課題を見だし、わかりやすく説明できるよう検証して改善する。		○	
			キャリア形成計画を状況に応じて、主体的に見直し、協働的に取り組む。			○